



特効薬

インフルエンザが全国的に流行し、長崎県でも警報が出されています。お子様だけでなく、ご家族の皆様も体調管理に配慮されているのではないのでしょうか。

インフルエンザに限らず、病気にかかったら早く治したいと思うのが一般的かと思います。注射や服薬でたちどころに症状が回復する特効薬がほしいなあと思うこともあります。しかし、現在のところそのような特効薬の話を聞いたことがありません。できるのは予防とかかった時の治療や休養です。

さて、「子どもがゲームやスマホなどのメディアに夢中になって困っています。どうしたらいいのでしょうか」という声を聞くことがあります。子どもたちがゲームやメディアをたちどころに手放す『特効薬』は何でしょう？ おそらく、インフルエンザと同様に「ありません」が現状ではないのでしょうか。

ゲームやメディアのコンテンツは、子どもに限らず人を夢中にさせるように開発されています。ですから夢中になるのは当たり前です。また、現代は情報端末（ゲーム・メディア）が生まれた時からあるのが普通な状況の子たちがほとんどです。

幼少期からそばに情報端末があり、そこから流れてくる短絡的で刺激の強い映像や音楽を見聞きし、それに慣れきってしまえば、もっと強い刺激を求めたり、一方的に受容する経験が無意識・無自覚に積んでいけば考えることに苦痛を感じたりするようになるのではないかと思います。

一方で、現代社会を生きる上で情報端末はなくてはならないものになっています。情報端末は道具です。道具は使い方しだいです。自動車も運転する人しだいで快適な乗り物にもなれば、人の命を奪う凶器にもなります。

情報端末の上手な使い方は、使うルールやマナー、モラルを身近な大人が教え、子どもたち自ら使い方を律せるようにすることが肝要だと思います。